

令和 3 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	蘭越町地域主導型再生可能エネルギー推進事業
補助事業者名	蘭越町
補助事業の概要	<p>(幽泉閣における温泉排湯熱利用事業)</p> <p>町内で最も利用者が多い公共施設であり、滞在型観光の拠点施設でもある蘭越町交流促進センター幽泉閣に、温泉排湯熱を利用したヒートポンプシステムを導入し、化石燃料の使用量及びランニングコストの削減を図った。また、同施設内に足湯を併設し、建物額壁面に啓発看板を設置することで再生可能エネルギーを利用する施設として町内外に広くPRを行った。</p> <p>(もみ殻バイオマス利活用推進事業)</p> <p>もみ殻バイオマス熱利用による冬季栽培温室ハウスで新たなブランド農産物栽培事業を展開し、小規模高付加価値農産物生産の事業スキームを確立するための実証事業を実施。栽培作物を葉物野菜に特化させ、同野菜の販売先については、町内のみならず、近隣町村や札幌市への市場出荷を試みた。なお、町内での店頭販売前には、役場にて栽培農家による無償配布会の開催、学校給食での提供を行い、同取組についてPRを行った。</p> <p>また、もみ殻燃料の販路安定化に向け、前年度に実施した燃料棒の無償配布時のアンケート結果を踏まえ、利用者のニーズを把握し、販売形態や販売価格等を設定のうえ、町内道の駅(2箇所)、幽泉閣、役場にて販売を行った。</p>
総事業費	292,985,474 円
補助金充当額	181,517,443 円
定量的目標	<p>(幽泉閣における温泉排湯熱利用事業)</p> <p>①導入設備の維持管理コストの削減</p> <p>(もみ殻バイオマス利活用推進事業)</p> <p>①冬季ブランド農産物栽培調査 ②冬季ブランド農産物販路確保調査 ③もみ殻燃料販路安定化に向けた調査</p>
補助事業の成果及び評価 (事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成し	<p>(幽泉閣における温泉排湯熱利用事業)</p> <p>①ヒートポンプ導入により、重油月平均使用量を約 93%削減(前年度比)</p>

たかなど)	<p>(もみ殻バイオマス利活用推進事業)</p> <p>①過去2年間の評価を踏まえ、葉物野菜に特化した実証栽培を実施。販売量728袋/200g。また、販売の他に無償配布会や学校給食の食材として使用。</p> <p>②町内2箇所での販売を実施し、一部の農産物については、札幌市の中央青果市場に出荷。</p> <p>③町内4箇所にて販売を実施。約7.2t(40万2千円)を販売。</p>	
<p>補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約</p> <p>(※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)</p>	<p>契約(間接補助)の目的</p>	<p>① 蘭越町地域主導型再生可能エネルギー推進事業委託</p> <p>② 簡易バイオマス暖房機(ゴロン太)</p> <p>③ 葉物野菜用播種機(ごんべい)</p> <p>④ もみ殻運搬作業業務委託</p> <p>⑤ もみ殻燃料成型機等メンテナンス作業業務委託</p> <p>⑥ 交流促進センター幽泉閣温泉熱利用改修工事管理委託</p> <p>⑦ 交流促進センター幽泉閣温泉熱利用改修電気設備工事</p> <p>⑧ 交流促進センター幽泉閣温泉熱利用改修機械設備工事</p> <p>⑨ 交流促進センター幽泉閣温泉熱利用改修建築主体工事</p>
	<p>契約の方法</p>	<p>①、③、④、⑤、⑥ 随意契約</p> <p>②、⑦、⑧、⑨ 指名競争入札</p>
	<p>契約の相手方(間接補助先)</p>	<p>① パシフィックコンサルタンツ(株)</p> <p>② (有)五十嵐農機</p> <p>③ ようてい農業協同組合蘭越支所</p> <p>④ (有)イシダハーベスト</p> <p>⑤ (有)五十嵐農機</p> <p>⑥ 日本都市設計(株)</p> <p>⑦ (株)長澤電機</p> <p>⑧ 池田・長澤・有我特定建設工事共同企業体</p> <p>⑨ 瀬尾・菅原特定建設工事共同企業体</p>
	<p>契約金額(間接補助金額)</p>	<p>① 4,994,000</p> <p>② 2,414,500</p> <p>③ 116,974</p> <p>④ 120,000</p> <p>⑤ 1,100,000</p> <p>⑥ 4,620,000</p>

		⑦ 18,920,000 ⑧ 207,900,000 ⑨ 52,800,000
来年度以降の事業見通し		

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。